

Ⅱ. 平成22年度 代表事業

【河川事業】

- ①名取川^{ふじつか}藤塚^{せんだい}地区（仙台市）において、治水事業を推進します。
(資料-1、P8参照)

名取川河口部左岸の藤塚^{ふじつか}地区^{せんだい}（仙台市）には唯一無堤区間が存在し、過去の出水において被害が発生していることから、無堤部を解消するべく、平成22年度は平成21年度に引き続き築堤、排水樋門及び水門等の工事を実施し、事業の完成を目指します。

- ②阿武隈川^{おしわけ}下流押分^{いわぬま}地区（岩沼市）において、堤防の質的整備を推進します。
(資料-2、P9参照)

阿武隈川左岸の押分^{おしわけ}地区では、過去の出水において漏水の被害が発生していることから、川側の堤防法尻に遮水矢板を設置することにより基礎地盤からの漏水対策を実施し、治水安全度の向上を図ります。

【海岸事業】

- ①仙台湾南部海岸中浜^{なかはま}工区^{やまもと}（山元町）において、海岸保全施設の工事を推進します。
(資料-3、P10参照)

海岸侵食が激しい、仙台湾南部海岸中浜^{なかはま}工区^{やまもと}（宮城県山元町）において、S5号ヘッドランドと養浜を推進し、背後地の安全度の向上を図ります。

【道路事業】

- ①唐桑^{からくわ}道路の暫定2車線供用を目指します。
(資料-4、P11参照)

唐桑^{けせんぬま}道路は、気仙沼市唐桑町内における国道45号の急カーブ及び隘路解消を図るため、平成14年度に事業着手しています。

平成22年度は、新唐桑トンネル(仮称)設備工事、改良・舗装工事を実施し、暫定2車線供用を目指します。

- ②仙台北部^{せんだいほくぶ}道路の利府^{ジャンクション}JCTフル化完成を目指します。
(資料-5、P12参照)

仙台北部道路は、平成9年度に工事着手し、平成14年度に利府^{りふ}JCT～利府しらかし台^{とみ}IC間の延長5.2km、平成21年度に利府しらかし台～富谷JCT間の延長6.6kmが暫定2車線供用しています。

平成22年度は、利府JCTの改良・舗装工事を推進し、利府JCTフル化完成を目指します。また、富谷JCT～国道4号間の改良工事、用地買収を実施します。

とみや たいわ
③富谷大和拡幅の完成を目指します。

(資料－6、P13参照)

富谷大和拡幅は、国道4号の仙台市泉区七北田から黒川郡大衡村大衡間の交通渋滞の緩和および交通安全の確保を目的とした延長13.3kmの4車線拡幅事業で、これまでに、延長12.0kmについて4車線化を図っています。
平成22年度は橋梁工事、改良・舗装工事を実施し、完成供用を目指します。

やもと いしの まき インターチェンジ
④矢本石巻道路のIC部の拡幅を実施します。

(資料－7、P14参照)

矢本石巻道路は、平成19年度までに全線暫定2車線供用しています。暫定供用以降の交通量増大に対応し、IC付近での交通の円滑化、交通安全の確保等のために分合流改善を図ります。
平成22年度は、改良工事、舗装工事を実施します。

とよま しづがわ
⑤登米志津川道路の用地買収・工事を実施します。

(資料－8、P15参照)

登米志津川道路は、平成21年度に登米IC～登米東和IC間の延長5.0kmが暫定2車線供用しています。
平成22年度は、登米東和ICから志津川IC(仮称)までの残り区間について、用地買収、改良工事を実施します。

みなみさんりく
⑥南三陸道路の調査・設計を実施します。

(資料－9、P16参照)

南三陸道路は、国道45号及び国道398号の連続する隘路区間の解消、津波等災害時の代替路確保等を図るため、平成20年度から事業着手しています。
平成22年度は、調査・設計を実施します。

もとよし けせんぬま
⑦本吉気仙沼道路の用地買収・改良工事を実施します。

(資料－10、P17参照)

本吉気仙沼道路は、交通混雑の緩和、事故の減少や災害時の代替機能の確保等を図るため、平成18年度から事業着手しています。
平成22年度は、用地買収、改良工事を実施します。

せんだいとうぶ せんだいこう インターチェンジ
⑧仙台東部道路(仙台港IC(仮称))の工事を実施します。

(資料－11、P18参照)

仙台港IC(仮称)は、東北唯一の特定重要港湾仙台塩釜港とその周辺施設に直結し、東北の物流拠点である仙台塩釜港の利便性の向上、並びに周辺道路の交通混雑の緩和等を図るため平成19年度より工事に着手しています。
平成22年度は、橋梁工事、改良工事を実施し、早期完成を目指します。

⑨ ^{かながせ}金ヶ瀬拡幅の用地買収・工事を実施します。

(資料－12、P19参照)

金ヶ瀬拡幅は、国道4号の^{せんだい}仙台市から^{しろいし}白石市間で、唯一2車線の^{ざおうみや}蔵王町宮～^{おおがわら}大河原町^{かなが}金ヶ瀬間の交通混雑の緩和および交通安全の確保を目的とした延長約3.7kmの4車線拡幅事業で、平成16年度に事業着手しています。

平成22年度は、大河原町及び蔵王町の用地買収・工事を実施します。

⑩ ^{ながまち}長町拡幅の工事を実施します。

(資料－13、P20参照)

国道4号長町拡幅は、(都)あすと長町大通り線、長町駅、^{たいしどう}太子堂駅前広場および駅前線の整備により公共交通機関の利便性向上を図るもので、平成13年度に交通結節点改善事業として事業着手しています。これまでに、延長約1.7kmの“あすと長町大通り線”の開通、長町駅・太子堂駅の駅前広場の完成により、交通結節点の混雑緩和と利便性向上を図っています。

平成22年度は、残る^{すわ}諏訪地区の電線共同溝工事を実施します。

⑪ ^{せんだい}仙台拡幅の用地買収を実施します。

(資料－14、P21参照)

仙台拡幅は、国道4号の交通混雑の緩和および交通安全の確保を目的とした延長4.6kmの6車線拡幅事業で、これまでに^{こがたけ}苦竹インターチェンジから^{やまざき}山崎交差点間延長2.8kmについて6車線化を図っています。

平成22年度は、^{つるがや}山崎交差点から^{つるがや}鶴ヶ谷交差点間の用地買収を実施します。

⑫ ^{さんぼんぎふるかわ}三本木古川拡幅の用地買収・工事を実施します。

(資料－15、P22参照)

三本木古川拡幅は、国道4号の^{くろかわ}黒川郡大衡村^{わらびさき}蕨崎から^{おおさき}大崎市古川^{ふるかわあらや}荒谷字^{しんたけのはな}新竹の花間の交通混雑の緩和および交通安全の確保を目的とした延長約16.1kmの4車線拡幅事業で、これまでに延長約14.2kmについて4車線化を図っています。

平成22年度は、大崎市^{さんぼんぎ}三本木地内の延長1.9km区間の用地買収、改良工事を実施します。

⑬ ^{つきだて}築館バイパスの調査設計・用地買収・工事を実施します。

(資料－16、P23参照)

築館バイパスは、国道4号の^{くりはら}栗原市^{つきだて}築館町内の交通混雑の緩和および交通環境の改善を目的とした、^{あか}栗原市築館町^{あか}赤坂から^{じょうの}城生野までの延長7.0kmのバイパス事業で、これまでに延長1.8kmについて暫定2車線供用しています。

平成22年度は、調査・設計、用地買収、工事を実施します。

⑭ ^{さかした}坂下拡幅の用地買収・工事を実施します。(資料－17、P24参照)

坂下拡幅は、^{せんだい}仙台市^{みやぎの}宮城野区^{はらのまち}原町から^{にがたけ}苦竹地内における国道45号の交通混雑の緩和並びに交通安全の確保を目的とした延長1.2kmの4車線拡幅事業で、これまでに約0.7kmの4車線化により坂下交差点の^{しじょう}渋滞緩和を図っています。

平成22年度は、残る区間について用地買収、電線共同溝を実施し、早期の4車線化を目指します。

⑮古川東バイパスの調査設計・用地買収・工事を実施します。
(資料-18、P25参照)

古川東バイパスは、大崎市内の国道108号の交通混雑の解消および沿道環境の改善等を目的とした、大崎市古川鶴ヶ塚から稲葉までの延長5.1kmのバイパス事業で、平成2年度に事業着手しています。
平成22年度は、調査・設計、用地買収、改良工事及び橋梁工事を実施します。

⑯花渚山バイパスの工事を実施します。
(資料-19、P26参照)

国道108号花渚山バイパスは、物流や観光ネットワークを形成するとともに、大崎市鳴子温泉地区の隘路解消や安全・安心な生活道路の確保を目的とした大崎市鳴子温泉古戸前～鳴子温泉鬼首柏木原までの延長6.4kmのバイパス事業です。平成20年度から直轄権限代行により事業に着手しています。
平成22年度は、トンネル工事を実施します。

⑰6号高瀬歩道の用地買収及び工事を実施します。
(資料-20、P27参照)

国道6号の山元町高瀬地内は、小学校や中学校へ通学する児童らの通学路にもなっているが、上り線側の歩道が整備されておらず、児童の通学の際、危険にさらされています。このことから、歩道を設置し、歩行者の安全を確保するものです。
平成22年度は、用地買収及び工事を実施します。

⑱45号松島歩道の用地買収を実施します。(資料-21、P28参照)

国道45号の松島町松島地内は、特別名勝「松島」に指定されており観光客の往来が多いほか、小学校へ通学する児童らの通学路にもなっているが、歩道が狭く観光客の往来や、児童の通学の支障となっています。このことから、適切な歩道幅員を確保し、快適な歩行空間を確保するものです。
平成22年度は、用地買収を実施します。

⑲45号枅沢交差点の用地買収及び工事を実施します。
(資料-22、P29参照)

国道45号の南三陸町歌津地内の枅沢交差点は、右折レーンが設置されておらず、右折待ち車両が直進車両の通行を阻害し、追突事故の原因となっているほか、円滑な交通を阻害する要因となっています。このことから、右折レーンを設置し、事故削減及び交通の円滑化を図るものです。
平成22年度は、用地買収及び工事を実施します。

⑳48号作並線形改良の工事を実施します。
(資料-23、P30参照)

国道48号の仙台市青葉区作並地内の相生橋付近は、急カーブ(R=100以下)が連続し、交通事故が多発しています。また、相生橋の老朽化(架設S29年)も進んでいます。このことから相生橋の架け替えも含む線形改良を行い、安全・円滑な交通の確保を図るものです。
平成22年度は、年度内供用を目指し、工事を実施します。

⑳ 108号^{ひろぶち}広渕歩道の用地買収及び工事を実施します。
(資料-24、P31参照)

国道108号の石巻市^{いしのまき ひろぶち}広渕地内は、小学校や中学校へ通学する児童らの通学路にもなっているが、歩道が整備されておらず、児童の通学の際、危険にさらされています。このことから、歩道を設置し、歩行者の安全を確保するものです。
平成22年度は、用地買収及び工事を実施します。

㉑ 108号^{すわ}諏訪歩道の工事を実施します。(資料-25、P32参照)

国道108号の大崎市古川^{おおさき ふるかわ すわ}諏訪地内は、大崎市古川の中心部に位置し、沿道には人家・店舗等が連立しているほか、近隣には市役所・市民病院・図書館・学校等があり、歩行者や自転車の通行が多い区間となっているが、民家などへの取り付け口などにより歩道に段差があり、安全な歩行の妨げとなっております。このことから、誰もが安全で安心して利用できる歩行空間の形成を目指し、歩道の段差解消、勾配緩和などのバリアフリー化を進めるものです。
平成22年度は、年度内供用を目指し、工事を実施します。

㉒ 45号^{せんだい}仙台東部共同溝の工事を実施します。
(資料-26、P33参照)

国道45号^{せんだい}仙台東部共同溝は、電気、水道、電話等の幹線公益施設(ライフライン)を道路地下に共同収容するもので、路上の掘り返しを防止するとともに、ライフラインを地震等の災害から守るためのものです。
平成22年度は、原町工区の本体工事を実施します。

㉓ 45号^ひ日の出地区^で電線共同溝の工事を実施します。
(資料-27、P34参照)

電線共同溝は、歩道上にある電線や電柱等の道路占用物件を歩道地下に収容するもので、無電柱化により、快適な歩行空間の確保や都市景観の向上が図られます。また、災害時の電倒壊やそれに伴う交通への影響が解消され、より迅速な救助活動が可能となります。
平成22年度は、支障移転補償及び本体工事を実施します。

㉔ 45号^{しおがま}塩釜地区電線共同溝の工事を実施します。
(資料-28、P35参照)

電線共同溝は、歩道上にある電線や電柱等の道路占用物件を歩道地下に収容するもので、無電柱化により、快適な歩行空間の確保や都市景観の向上が図られます。また、災害時の電倒壊やそれに伴う交通への影響が解消され、より迅速な救助活動が可能となります。
平成22年度は、電線共同溝の本体工事を実施します。

㉕ 108号^{ふるかわ}古川地区電線共同溝の工事を実施します。
(資料-29、P36参照)

平成22年度は、古川^{ふるかわ}工区において電線共同溝本体を推進します。また、古川北町^{ふるかわきたまち}工区では支障移転補償及び本体工事を実施します。